

手洗い！重要です



手足口病、流行中！ 家族内感染にご注意を

平成 29 年 7 月 19 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 28 週分・7 月 10 日～7 月 16 日)

《 インフォメーション 》

●手足口病

今週、手足口病の報告数が定点医療機関あたり 9.97 人となり、先週 (5.62) から増加しました。この疾患は、夏季に流行する傾向があり、例年 7 月末に流行のピークを迎えます。近年では、2015 年に大きな流行となりましたが、今年は全国的にも患者数が増加しています。(右上図)。患者は 1 歳をピークに 5 歳以下が全体の 9 割以上を占めています(下図)。

手足口病は、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど複数のウイルスを原因とする感染症です。手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹を特徴とします。発熱や食欲不振、のどの痛みなどが見られますが、一般的に軽症で、発疹は 3～7 日で消失します。まれに髄膜炎や脳炎などの合併症状が出る場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣(けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。**症状がなくなった後も、2～3 週間は便からウイルスが検出されることがあります。**

次のことに注意して感染を予防しましょう。

- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗う(石けんの使用は効果的)。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 1 件 (80 歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 4 件 (①第 27 週診断分：60 歳代、男性 ②第 27 週診断分：80 歳代、男性 ③60 歳代、男性 ④70 歳代、男性 ①～④すべて肺炎型)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件 (①第 27 週診断分：70 歳代、男性 ②50 歳代、男性)

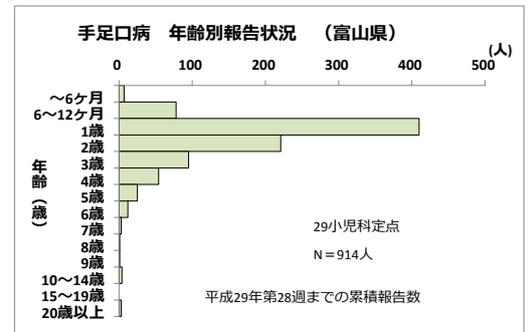
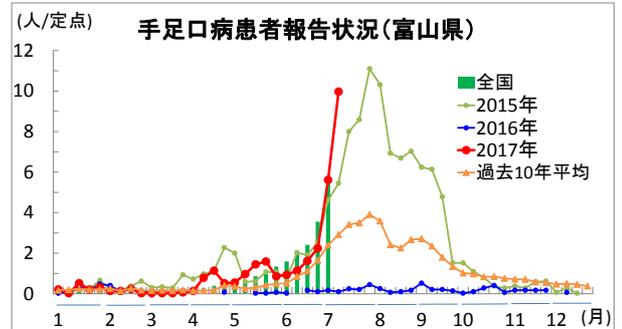
《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	手足口病	9.97	5.62	↑
2 位	感染性胃腸炎	3.93	4.79	↓
3 位	ヘルパンギーナ	1.14	0.55	↑
	流行性角結膜炎	1.14	0.43	↑
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	1.34	↓
5 位	流行性耳下腺炎	0.83	0.72	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第28週 平成29年7月10日～平成29年7月16日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1		1	2	8	5	26	10	46	95	
三類感染症	細菌性赤痢									1			1	
	腸管出血性大腸菌感染症								2	1	1	7	11	
四類感染症	A型肝炎							2				1	3	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症					2	2	4		6	1	7	18	
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1			4		5	
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、タニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）											1	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6	
	後天性免疫不全症候群									1		1	2	
	ジアルジア症							2		1			3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	4		2	2	15	23	
	梅毒							1			2		5	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					1	1	1,886	1,364	2,452	1,551	3,415	10,668
									0.06	0.02				
RSウイルス感染症		1		1		8	10	33	22	28	37	325	445	
		0.25		0.13		0.80	0.34							
咽頭結膜熱		4	1	4		4	13	52	19	197	60	145	473	
		1.00	0.33	0.50		0.40	0.45							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	2	11	3	9	27	103	37	655	217	539	1,551	
		0.50	0.67	1.38	0.75	0.90	0.93							
感染性胃腸炎		22	15	11	4	62	114	1,019	684	1,095	506	2,313	5,617	
		5.50	5.00	1.38	1.00	6.20	3.93							
水痘				1		4	5	5	30	67	29	110	241	
				0.13		0.40	0.17							
手足口病		36	7	150	7	89	289	67	66	364	19	398	914	
		9.00	2.33	18.75	1.75	8.90	9.97							
伝染性紅斑				1			1			3	1	15	19	
				0.13			0.03							
突発性発しん		2	1	7	2	7	19	33	19	123	53	88	316	
		0.50	0.33	0.88	0.50	0.70	0.66							
百日咳										2			2	
ヘルパンギーナ		5		21		7	33	16	9	49	6	23	103	
		1.25		2.63		0.70	1.14							
流行性耳下腺炎		8		11		5	24	139	60	386	74	338	997	
		2.00		1.38		0.50	0.83							
急性出血性結膜炎									3	2		5		
流行性角結膜炎			3	5		8		1	206	13	4	224		
			1.50	5.00		1.14								
細菌性髄膜炎							1				1	2		
無菌性髄膜炎							1				3	4		
マイコプラズマ肺炎							9	2	13	7	16	47		
クラミジア肺炎										1	1	2		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58		
インフルエンザによる入院患者（*）						0	54	3	38	106	98	299		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年6月分）

		6月報告分					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			4		3	7		2	15		26	43	
				1.33		0.75	0.70							
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			2	3		6	5	1	11	23	
			1.00			0.50	0.30							
尖圭コンジローマ				1		2	3			6	5	7	18	
				0.33		0.50	0.30							
淋菌感染症				1		2	3			3		6	9	
				0.33		0.50	0.30							
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1			6	2	9	9	10	3	15	15	52
			1.00			6.00	2.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1		1			2	1	1	7	5	2	16
		1.00		1.00			0.40							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。